

得ヲ與フルモノト謂ハサルヲ得サルヲ以テ改正民法ハ之ヲ改メタリ又舊民法財
 産編第二百八十三條ハ適法ニ爲シタル合意ハ法律ニ均シキ効力ヲ有スルヲ以テ
 苟モ合意ノ適法ニ因リ地役權行使ノ時日場所方法等ヲ定メタル已上ハ又適法ノ
 合意ニ因ルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得サルコトヲ示シタルニ拘ラス地
 役權ハ土地ノ便益ノ爲メ設定スルモノナルカ故コ利益アリテ損害ナキ已上ハ當
 初合意ニ因リテ定メタル地役權行使ノ時日場所又ハ方法ヲ當事者ノ合意ニ因テ
 スシテ變更スルコトヲ得セシムルノ便宜ヲ與ヘタリト雖モ相手ノ一方ニ損害ヲ
 與フルヤ否ヤヲ判明ナラシムルコト頗ル難キハ勿論タトヒ損害ナシトスルモ苟
 モ設定行爲又ハ判決等ニ因リテ定メタルモノナ一方ノ意思ノミヲ以テ變更スル
 コトヲ得セシムルハ權利ノ確定ヲ妨クルモノナルニ依リ改正民法ハ之ヲ省キタ
 リ其他舊民法財産編ハ其第二百八十四條及第二百八十五條ニ地役權ノ設定ニ因
 リテ利益ヲ享クル者ハ要役地ノ所有者タルヲ以テ其之ニ因リテ利益ヲ享クル者
 ハ其利益ヲ得ルニ必要ナルコトニ付テハ自カラ其費用ヲ負擔スヘキコトヲ規定
 シタルモ是レ當然ノコトニ屬スルヲ以テ改正民法ハ其第二百八十六條ニ承役地

ノ所有者カ建設及修繕ノ義務ヲ負擔セル場合ニ於テ其義務カ特定承繼人ニ及フ
 コトヲ明示シタリ而シテ又承役地ノ所有者カ地役ノ存スル不動産ノ部分ヲ要役
 地ノ所有者ニ遺棄スルトキハ常ニ右ノ負擔ヲ免カル、コトヲ得ルモノトナシタ
 ルハ當然ノコトニシテ説明ヲ要セス又舊民法財産編第二百八十六條第二項及改
 正民法第二百八十八條ノ規定ハ經濟上ノ理由ニ基ヒシタルモノニシテ法律ヲ以
 テ設定シタル地役ノ場合ニ講述シタル所ト異ナルコトナシ

第四章 地役權ノ消滅

第一節 混同

混同ニ因リ地役權ノ消滅スルハ即チ要役地及承役地共ニ同一人ノ所有ニ歸シタ
 ル場合ナリ術語ヲ以テ云ヘハ所有權ノ歸一 (Unity of ownership) ナ生シタル場合ナリ
 蓋シ地役權ハ既ニ述ヘタルカ如ク其本質一ノ土地ノ所有者カ他人ノ土地ノ上ニ
 實行スルノ權利ナルヲ以テ其所有權同一人ノ手裡ニ歸スルコトアラハ地役權ハ
 其本質ヲ失ハサルヲ得サレハナリ故ニ他日此土地ヲ再ヒ分割シテ所有者ヲ異ニ
 スルコトアルモ一度消滅シタル地役權ハ新ニ之ヲ設定スルニアラサレハ再生セ

地役權ノ
 消滅
 混同

物權法 地役權ノ消滅 混同

サルナリ然レトモ要役地ノ所有者或ハ承役地ノ所有者カ單ニ一方ノ土地ヲ占有
 スルニ過キサレハ地役權ハ唯一時停止セラレ、ノミニシテ決シテ消滅スルコト
 ナシ例ヘハ地役地ノ所有者カ承役地ヲ借受ケテ其借地人トナルトキハ要役地ノ
 所有者ハ合意ニ依テ定メタル年限間承役地ノ占有者ニシテ此二箇ノ土地ノ上ニ
 存在セル地役權ハ其占有ノ繼續スル間停止セラレ其占有ノ期滿ツレハ地役權ハ
 蘇生スルカ如シ即チ此場合ニ於テハ地役權ハ新ニ生シタルニアラスシテ一時停
 止セラレタルモノカ再生シタルニ過キス但シ混同ニ因リテ地役權ノ消滅スルニ
 ハ要役地及承役地ニ對シ同一人カ完全ナル所有權ヲ得タル場合ナラサルヘカ
 サルコトニ注意セサルヘカラス若シ夫レ其所有權ニシテ或ル條件ノ發生ニ因リ
 消滅スルモノナルトキハ地役權ハ混同ニ因リ絶對的ニ消滅シタルニアラスシテ
 條件ノ發生ト共ニ蘇生シ來ラサルヲ得サルヘシ英國慣習法ニ依ルモ古代ノ判決
 例ニハ或ハ必要ナル地役權ハ所有權ノ混同ニ因リ消滅スルコトナシトセルモノ
 多シト雖モ近來ノ判決例ニ依レハ地役權ハ其種類ノ如何ヲ問ハス所有權ノ混同
 ニ因リ消滅シ唯必要ノ地役權ハ混同シタル土地ヲ再ヒ分割スルニ當リ更ニ創生

シ而シテ其新ニ生シタル地役權ハ分割ニ因リテ發生シタルモノニシテ決シテ混
 同已前ノ地役權カ繼續スルモノニアラサルコトヲ判定セリ
 夫レ然リ然リト雖モ舊民法財産編ニ所謂法律ヲ以テ設定シタル地役ニ至リテハ
 前述スル所ト大ニ其趣キチ異ニスヘシ彼レ此レ混淆セサランコトヲ要ス蓋シ眞
 正ノ地役權ハ承役地所有者ノ意思ニ因テ生スルモノナリト雖モ所謂法律ヲ以テ
 設定シタル地役ハ承役地所有者ノ意思如何ニ關セス永久其土地ニ附着スルモノ
 トス故ニ真正ノ地役權ハ或ハ停止セラレ或ハ永久ニ消滅スルコトアリト雖モ所
 謂法律ヲ以テ設定シタル地役ハ只一時停止スルヲ得ルノミニシテ決シテ永久ニ
 消滅スルコトナシ其停止ノ原因消滅セハ其權利ハ法律ノ作用ニ依リ再生シ來ル
 カ故ニ敢テ新ニ之ヲ讓與スルノ必要ヲ見サルナリ即チ所謂法律ヲ以テ設定セル
 地役ハ之ニ反對ナル眞正ノ地役權ノ創設ニ因リテ停止セラレ、コトアルモ若シ
 其停止ノ原因タル地役權ニシテ消滅スルトキハ所謂法律ヲ以テ設定シタル地役
 權ハ再生スヘシ例ヘハ沿岸ノ土地所有者カ各々其流水ヲ受クルノ權利アルハ所
 謂法律ヲ以テ設定シタル地役權ナリ而シテ上流ノ土地所有者ハ下流ノ所有者ノ

物權法 地役權 地役權ノ消滅 不使用

使用ヲ妨害スルヲ得サルナリ然レトモ上流ノ所有者ニシテ水車ヲ設置シ下流ニ
 流水セサル地役權ヲ得ルコトナキニアラス又一方ニ支流ヲ穿通シテ分流スルノ
 地役權ヲ得ルコトナキニアラス斯ル場合ニ於テハ下流ノ土地所有者ノ法律ヲ以
 テ設定シタル地役權ハ一時停止セラルヘシト雖モ其水車ニシテ永久他所ニ移轉
 セラル、カ又ハ破壊セラル、ニ至レハ上流ノ所有者カ新ニ得タル地役權ハ消滅
 シテ下流ノ所有者ノ爲メニ所謂法律ヲ以テ設定シタル地役權ハ再生スルカ如シ
 又例ヘハ製造場ヲ設ケ又ハ特別ノ工業ヲ營ムニ因リ水流又ハ空氣ヲ不潔ナラシ
 ムルノ權利ヲ得ルトキハ是レ即チ法律ヲ以テ設定シタル地役權ニ反對スル地役
 權ニシテ前者ハ爲メニ一時停止セラル、モ其製造場ヲ取毀テ又ハ之ヲ他所ニ移
 轉シ若クハ其工業ヲ廢止スルトキハ再ヒ發生スルニ至ル可シ即チ其權利ハ消滅
 シテ又新ニ生スルニアラサルナリ

第二節 不使用

地役權ハ土地ノ便宜ノ爲メニ設定シタルモノナルニ久シキ歲月間不使用ノ儘ニ
 テ放任スルトキハ最早便宜ヲ受クルノ必要ナキモノト推定スルニ足ルヘシ而シ

不使用

期間ノ滿
了及時効

テ其不使用ハ要役地所有者ノ不任意即チ天災事變等ニ基ク場合ト雖モ同様ナリ
 トス何トナレハ要役地ノ所有者ニシテ若シ便宜ヲ享クルノ必要アルトキハ其天
 災事變等ヲ除去スルコトヲ勉ムヘキニ之ヲモ爲サスシテ久シキ歲月ヲ經過セハ
 自カラ其便宜ヲ拋棄シタルモノトナスヲ得レハナリ改正民法第二百九十三條ハ
 即チ此主意ニ外ナラス而シテ第二百九十一條ハ消滅時効ノ期間ニ付キ起算點ヲ
 定メタルニ過キス斯クノ如ク夫レ地役權ハ不使用ニ因テ消滅スヘシト雖モ地役
 權ハ其性質不可分のノモノナルニ依リ若シ要役地ニシテ數人ノ共有ニ屬スル場
 合ニ在リテハ其共有者ノ一人ノ權利ノ行使サヘアレハ他ノ共有者ノ權利ハ爲メ
 ニ保存セラル、コト勿論タリ殊ニ又地役權ノ不使用ニハ免責時効ノ停止又ハ中
 斷ニ關スル規則モ適用セラルヘキハ當然ナリトス

第三節 期間ノ滿了及時効

地役權ハ其之ヲ設定シタル當時ニ定メタル期間ノ滿了ニ因リテ消滅ニ歸スヘキ
 ハ論チ俟タス又地役權ノ存在スルコトヲ知ラスシテ承役地ノ所有者ヨリ第三者
 カ其土地ヲ讓受ケ中斷ナシ取得時効ニ必要ナル期間占有シタルトキハ要役地ニ

物權法

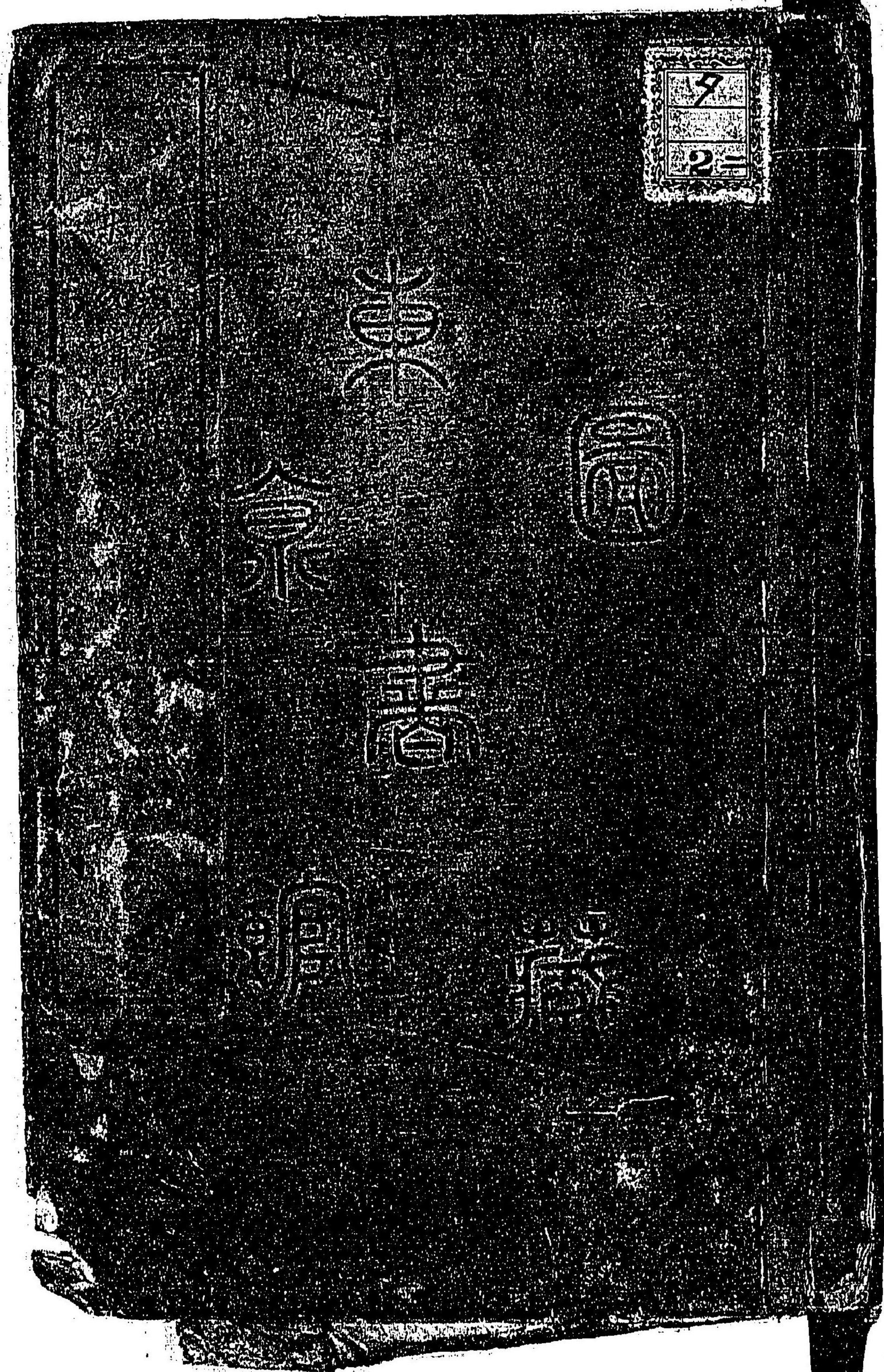
地役權 地役權ノ消滅 期間ノ滿了及時効

夕
2=

屬スル地役權ハ消滅スルモノトス是レ蓋シ法律ノ占有者ヲ保護スルノ主意ニ出
タルモノナラン

物權法(第一部)完結





033988-000-7

夕-2二

物権法

奥田 義人/述

M29?

BBL-0394



夕
2 =

東京法律學院三十年度
第一級講義錄
物權法(第一節)

東京法律學院
三十年度
第一級講義錄
物權法(第一節)

組山
元